

# 1 河川洪水ハザードマップで水害リスクを確認しましょう。

- ① 自宅(勤務場所)が浸水想定区域内(色が塗られている場所)にあるか確認しましょう。
- ② 自宅(勤務場所)が浸水想定区域内にある時は、凡例の「浸水深の目安」と見比べて、浸水深を確認しましょう。  
※ さらに詳しく調べるには、国土交通省の「地点別浸水シミュレーション」を参照
- ③ 避難所の場所、浸水時の車両乗り入れ可否等を確認し、浸水想定区域外の親戚宅、知人宅を含めた避難場所の候補を決めましょう。
- ④ 避難場所への移動手段・移動経路を決めて、移動にかかる時間を確認しましょう。
- ⑤ 確認した結果をもとに、「避難行動判定フロー」、「マイ・タイムライン」を作成して災害に備えましょう。

※ 下記の例はいわき市役所を自宅(勤務場所)とした場合の例です。

**いわき市夏井川水系**  
**洪水避難地図(平地区西部)**  
 想定最大規模  
 ー 河川洪水ハザードマップ ー

施設名	住所	避難人数	車台数	浸水時要避	浸水時要避
平第一小学校	平字鎮土5	110	0	○	○
平第二小学校	平字地蔵町7-1	325	X	○	○
平第三小学校	平字町三丁目4-2	240	X	○	○
平第四小学校	平字平塚字鎮土5	195	0	○	X
平第五小学校	平字平塚字川前58	220	0	○	○
平第六小学校	平字平塚字石橋27	230	0	○	X
平南小学校	平字平塚字西町49	150	0	○	X
平第一中学校	平字鎮土	150	0	○	○
平第二中学校	平字鎮土地蔵町2	180	0	○	○
平第三中学校	平字川原字百野56	100	0	○	X
平南中学校	平字平塚字西町19	85	0	○	X
県立磐城高等学校	平字長月7	500	0	○	○
県立磐城桜が丘高等学校	平字長月5	200	0	○	○
県立平塚高等学校	平字平塚字中町1-3	50	0	○	X
県立平塚高等学校	平字平塚字水口1-1	300	0	○	X
平社会福祉センター	平字平塚字西町6-1	330	X	○	○
平野公民館	平字平塚字中町47-1	35	0	○	○
いわき市立小の家	平字平塚字平塚大字23	15	0	○	○
高野小学校	平字平塚字西町6-1	150	0	○	○
高野小学校	平字平塚字西町121	174	0	X	X

**凡例**

想定し得る最大規模の降雨によって河川が増水し、浸水被害が発生した場合に予想される浸水の範囲を示しています。  
 開設されている避難所については、市ホームページ、市防災メール、テレビのプッシュ放送等で確認してください。なお、福祉避難所は、一般避難所の要配慮者状況等を判断し必要時に限ります。

**<指定避難所>** 避難可能な施設  
 避難可能な施設  
 浸水時車両の乗り入れが不可能な施設

**<福祉避難所>** 避難可能な施設  
 避難可能な施設  
 浸水時車両の乗り入れが不可能な施設

**<公共・防災関係施設>** 市役所・支所  
 防災関係機関 救急医療施設  
 危険管理型水位計

**<浸水深の目安>**  
 10.0m以上  
 5.0m～10.0m未満  
 1.0m～5.0m未満  
 0.5m～3.0m未満  
 0.5m未満(床下浸水)  
 (大人の膝までつかる)

**<家屋倒壊等はん蓋想定区域>**  
 (河川側) 河川側または、沿電流により  
 家屋が倒壊するおそれがある区域

**<洪水浸水実績区域>**  
 洪水浸水暫定区域(令和元年10月大雨) <土砂災害警戒区域>  
 洪水浸水暫定区域(令和元年12月20日時点のものです)  
 洪水浸水実績区域(平成元年8月) 土砂災害特別警戒区域  
 洪水浸水実績区域(昭和61年8月) 土砂災害警戒区域

※暫定区域であり、区域内でも浸水した箇所、区域内でも浸水していない箇所がある可能性があります。参考図として活用下さい。

① 自宅(勤務場所)が浸水想定区域内にあるか確認。

② 自宅(勤務場所)が浸水想定区域内にある時は、凡例の「浸水深の目安」と見比べて、浸水深を確認。  
 ※ さらに詳しく調べるには、国土交通省の「地点別浸水シミュレーション」を参照

③ 避難所の場所、浸水時の車両乗り入れ可否等を確認し、浸水想定区域外の親戚宅、知人宅を含めた避難場所の候補を決める。

④ 避難場所への移動経路・移動手段を決めて、移動にかかる時間を確認

移動手段:車  
 移動時間:15分